

池田町第 5 次総合計画

後期基本計画（概要版）

計画期間：平成 26～30 年度（5 年間）



～人が輝き 歴史と自然が彩る てるてる坊主のふるさと～

長野県 池田町

後期基本計画の策定にあたって

みんなで温かく支え合う

美しいまちづくりを目指して

池田町長 勝山 隆之



第5次総合計画（平成21～30年度）の後期基本計画（平成26～30年度）策定にあたり、町総合計画審議会及び町議会、自治会の皆様をはじめ、多くの町民の皆様にご協力をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

池田町は高齢化率が33%を超え高齢化社会を迎えており、福祉の充実、少子化対策、若者定住促進、産業振興等の施策が急務となっています。後期基本計画には、これらの課題を解決すべく様々な施策を盛り込みました。

具体的には以下の4つを大きな柱に積極的な事業展開を行ってまいります。

まちなか活性化（社会資本総合整備計画による公民館・図書館の建て替え等）

魅力あふれるまちづくり（ワイナリー構想の具体化等）

住みよいまちづくり（生きがいをもち健康寿命延伸、温かく支え合う子育てのしやすい社会の実現、若者向け宅地分譲等）

すばらしい自然景観と池田学問所の精神を大切にしたい美しいまちづくり

また、事業実施とは切っても切り離せない財政の健全性についても十分に配慮して町政運営を行ってまいりますので、町民の皆様には特段のご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

平成26年 11月

1 後期基本計画とは

(1) 計画策定の目的

「総合計画後期基本計画」は将来の池田町を考え、今後5年間で、町が何を指し、何を行うのかをまとめたものです。

池田町では、平成21年3月、基本構想に「人が輝き 歴史と自然が彩る てるてる坊主のふるさと」を掲げた「池田町第5次総合計画」を策定し、以来、基本構想を具体化するために、5つの基本目標で構成される「前期基本計画」に基づき、その実現に向け、まちづくりに取り組んできました。

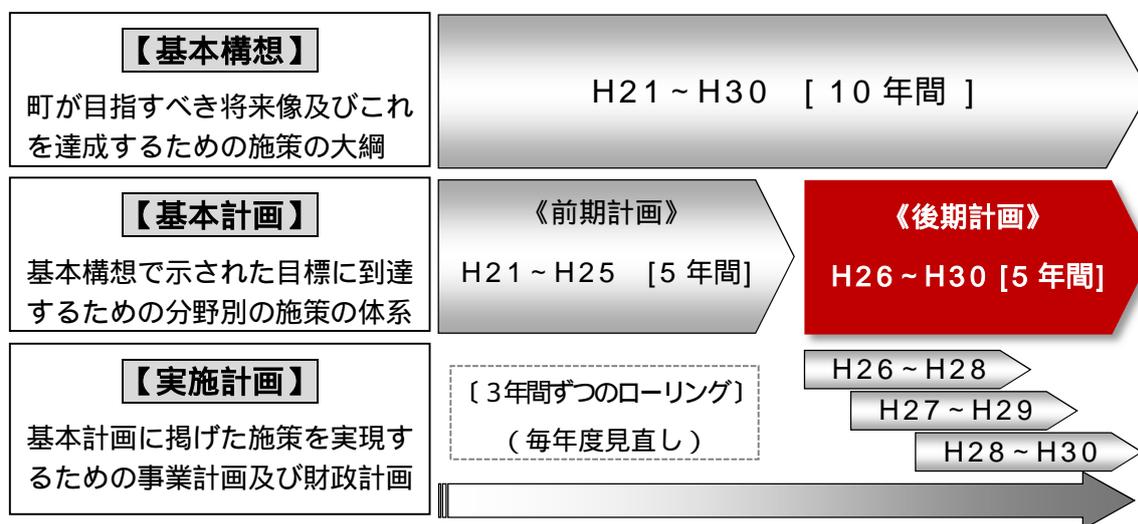
この前期基本計画の計画期間が平成25年度をもって終了することから、成果や達成状況、町民要望等を検証するとともに、今後5年間に取り組むべき課題について検討を行い、平成26年度から30年度までの5年間の計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

この計画に基づき、基本構想の実現に向けて、引き続きまちづくりを総合的・計画的に進めてまいります。

(2) 総合計画の構成と期間

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画により構成されます。

後期基本計画は、平成26年度から平成30年度までの5年間の計画です。



(3) 計画策定体制

計画策定にあたっては、池田町総合計画審議会をはじめ、町民アンケート調査、パブリックコメント（意見募集）、議会、自治会協議会等を通じ、多く皆様からのご意見・ご提案をいただきました。それらを参考に策定を進め、平成26年10月に完成しました。

2 後期基本計画の4つの重点施策

後期基本計画では、前期基本計画のこれまでの取り組みや成果、課題、社会情勢、アンケート結果等を踏まえ、重点的に取り組むべき施策を以下のとおり4項目設定しました。

特に、国の交付金を活用した「社会資本総合整備計画」による公民館や図書館の建て替えを始めとするまちなか活性化事業、農商工の振興による魅力あるまちづくりの創出、福祉や医療体制の充実、公共施設の耐震整備等による安心安全な住環境の整備、町の財産である美しい北アルプスの眺望と田園風景を保全・継承するための取り組み等の施策に重点を置き、まちづくりを推進します。

加えて、商工業や観光等の産業の発展が期待される「地域高規格道路松本系魚川連絡道路」の建設を促進するとともに、ルートを勘案した土地利用に努めます。

1 まちなか活性化



中心市街地の活性化

まちなか(豊町から五丁目及びその周辺地域)は、行政、医療、福祉、教育の主要な機関が集積する地域であり、かつては商業等の集積も見られましたが現在は賑わいが失われています。このような状況のなか、アップルランド池田店が、地域住民の生活を支えるとともにコミュニティの場としての機能を担ってきましたが、平成25年2月に撤退したことから、地域住民の生活コミュニティ

の維持、跡地利用等が課題として加わるとともに、買い物の場の確保をはじめ、町公民館や街路灯の老朽化等への対応も急がれています。

後期では、平成25年度に策定した「池田町社会資本総合整備計画」に基づき、公民館及び図書館をまちなかの中心地に移転整備し、地域の交流拠点としてまちなかの活性化を図ります。また、道路整備や街路灯の再整備、空き店舗対策、商業施設の整備等、まちなかの様々な課題に取り組みます。



老朽化が進む池田町公民館を移転・建て替え

後期 5 年間に
力を入れて
取り組む主な事業

公民館・図書館併設の地域交流センター建設
公共施設や避難所等をつなぐ道路整備
ミニ公園の整備
街路灯の再整備
空き家・空き店舗対策
文化財管理施設の整備
商業等活用エリアの具体化
民間商業施設の誘致

2

魅力あふれるまちづくり



さらなるブランド化の期待がかかるワイン用ぶどう

全国的に人口が減少傾向となり、少子高齢化が急速に進行するなか、平成 30 年の町の推計人口は約 5%減の約 9,900 人となり、昭和 30 年代以来保ってきた 10,000 人を割り込むことが予想されます。今後大幅な自然増は期待できない厳しい状況下ではありますが、後期基本計画では基本構想で掲げた「将来目標人口 11,000 人」を目指し、引き続き各施策を実施していきます。

そのためには、まずは魅力のあるまちづくりを推進す

るとともに、人口増対策や産業創出等への積極的な取り組みが必要不可欠です。

後期では、住宅地の造成、ワイナリー構想の実現に向けた取り組み、農家の育成支援、地域おこし協力隊を活用した特産品開発や農家民宿の検討、企業誘致等を推進し、「住みたい町・訪れたい町」を目指し、引き続き魅力あふれるまちづくりに取り組んでいきます。



ウォーキングを中心とした観光振興の推進

後期 5 年間に
力を入れて
取り組む主な事業

ワイナリー構想の具体化
特産品開発
農業の担い手・集落営農の育成支援
ほ場整備事業の推進
企業誘致のための工業用地造成
北アルプス展望美術館の運営充実
交流人口増に向けた取り組みの推進



耐震補強工事を実施する会染保育園

町民が住み慣れた地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、子育て支援、健康づくり、防災対策、交通弱者対策等、生活基盤の整備を進め、住みよいまちづくりに取り組みます。

特に「東日本大震災」の発生を契機に新たに防災・減災対策の必要性が高まっていることから、自主防災会の組織力強化や公共施設の耐震化促進、団員詰所等の更新整備、防災行政無線デジタル化事業など「防災体制・情報基盤の充実」を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

また、町の男性の平均寿命が全国の自治体のなかで7位(81.9歳)となるなど(平成22年・厚生労働省)、ますます健康寿命の大切さが問われています。健診やスポーツ振興等を通して健康づくりを啓発するとともに、安曇総合病院を中心とした「地域医療基盤の充実」を図り、町民生活の安全・安心を支える生活基盤の充実に向けた取り組みを進めます。

若者定住住宅地の分譲、妊娠・出産・育児への細やかな支援をはじめ、医療費無償等による子育て世代への負担軽減にも努め、若者定住や少子化対策を推進します。



自主防災会の組織力強化



若者定住住宅地の分譲(写真:一丁目 あゆみ野住宅地)

後期5年間に
力を入れて
取り組む主な事業

若者定住施策の推進

健康寿命の延伸

安曇総合病院再構築への支援

小中学校の校舎改修

公共施設の耐震整備(会染保育園、総合体育館等)

防災体制の充実整備

総合型地域スポーツクラブ「大かえで倶楽部」の育成

交通弱者対策の推進



かけがえのない池田町の景観を保全

誰もが認める当町の素晴らしい自然景観。雄大な北アルプスの眺望と高瀬川の清流、四季折々に町を彩る田園風景、そして緑豊かな東山があります。

先人がつくりあげたこの素晴らしい自然と景観を、町民、事業者、行政による連携のもと、自然や生態系を維持・保全し、自然と共生できるまちづくりを目指します。

特に後期では、北アルプスの眺望と田園風景をはじめとする地域資源を保全し、後

世に継承するため、平成 23 年に策定した「土地利用調整基本計画」に基づき、引き続き適正な土地利用の規制・誘導を行うとともに、ゾーン区分等の見直しも実施し、計画的な土地利用を推進します。

また、可燃ゴミの排出量が近隣市町村に比べて多い傾向にありますので、ゴミの減量(リデュース)・再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)による循環型社会の構築を目指し、啓発活動及び分別収集徹底を図るとともに、CO₂排出量を減らすため、自然エネルギーの活用等により引き続き地球温暖化対策に努めます。

「花とハーブの里づくり」の一環として、自治会をはじめ、各家庭等での花づくり活動を奨励するなど、将来にわたって美しい地域であり続けるための景観や環境、文化等の保全に向け、町民と行政が協働して、様々な活動を展開し美しいまちづくりを推進します。



自治会や各家庭での花づくり活動の推進

後期 5 年間に
力を入れて
取り組む主な事業

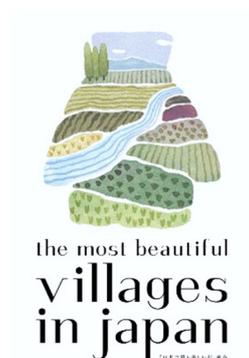
ゴミの減量化、CO₂削減

花とハーブの里づくりの推進

協働のまちづくりによる環境整備

土地利用調整基本計画の見直し

総合計画の全文は、町ホームページ <http://www.ikedamachi.net/> でご覧いただけます。
また、冊子による配布をご希望の方は、町づくり推進係までご連絡ください。



池田町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています

池田町第5次総合計画 後期基本計画 概要版 発行：平成26年11月

企画編集：池田町役場 総務課 町づくり推進係 電話 0261-62-3131(代表)